

日本教育史 業績と人物 記号問題15問 解答

復習問題 次の1～15の文が説明している人物名を下から選び、記号で答えなさい。

1	江戸初期の儒学者。上野忍ヶ岡で塾を経営。それが昌平坂学問所になる。著書に、「春鑑抄」「三徳抄」	サ
2	近江聖人と仰がれる。陽明学派の祖。著書に「翁問答」「孝経啓蒙」	コ
3	慶応義塾の創始者。「天は人の上に人を造らず、人の下に人を造らず」と封建制を批判。実学を主張。著書に「西洋事情」「世界国尽」	ク
4	初代文部科学大臣。1886年、諸学校令を制定し、近代的学校体系を確立。	イ
5	幕末の私塾である松下村塾の塾主。国学と漢学の教育者。優秀な門弟を輩出した。安政の大獄で刑死。	シ
6	1875年、同志社英学校を創設。慶應義塾に匹敵する、新しい青年教育の場を提供した。	ソ
7	国学の大成者。「古事記」と「源氏物語」の研究、「もののあはれ」論などで有名。著書に「玉勝間」「古事記伝」	エ
8	私塾の咸宜園（かんぎえん）を開設。「三奪」という教育理念を掲げ、皆が対等の立場で学ぶことを理想とする。	セ
9	洋楽塾の同人社を開き、西洋思想の普及に努める。教育勅語の起草にもかかわった。著書に「自由之理」「西国立志編」。	カ
10	江戸時代の教育者。平易な平仮名で教育の在り方を説く。女子教育や早期教育も重視。著書に「和俗童子訓」「慎思録」「大和俗訓」	ア
11	私塾の積徳堂で軍学を説き、武士の在り方を探究する武士道の基礎を説く。著書に「武教要録」「聖教要録」「武家事紀」	ス
12	江戸中期の儒学者。学習者の自発活動を重視した輪読・会読という学習形態を提唱。著書に「弁道」「政談」「太平策」「論語徴」	ケ
13	経世思想家。「学校は人道を教る所」とし、就学の必要性を主張。岡山に花鳥教場を開設。著書に「集義和書」「大学或問」など。	キ
14	蘭学を学ぶ。大阪で適塾を開く。ここでは、実力本位の進級、塾生主体の学習が行われた。	オ
15	日本の女子教育家。日本初の女子留学生の一人で、女子英学塾（現：津田塾大学）の創設者であり、日本における女子教育の先駆者と評価される。	ウ

ア 貝原益軒 **イ** 森有礼 **ウ** 津田梅子 **エ** 本居宣長 **オ** 緒方洪庵
カ 中村正直 **キ** 熊沢藩山 **ク** 福沢諭吉 **ケ** 荻生徂徠 **コ** 中江藤樹
サ 林羅山 **シ** 吉田松陰 **ス** 山鹿素行 **セ** 広瀬淡窓 **ソ** 新島襄